

## **II 農村振興モニターを対象としたアンケート調査票**

## II 農村振興モニターを対象としたアンケート調査票

### 1 アンケート調査への協力依頼文

平成20年12月26日

農村振興モニターの皆様へ

財団法人農村開発企画委員会  
理事長 山本 徹

多様な主体の参画による農山漁村の活性化に関するアンケート調査  
ご協力のお願い

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本財団の業務につきましては、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、「農村振興モニター」の皆様には、平成20年度第1回目のアンケート調査のお願いとなります。

農村には、農地・農業用水、自然環境、美しい農村景観、伝統文化、多様な動植物など、さまざまな地域資源があるといわれております。

これらの地域資源については適切な維持管理や、保全活用によって、農村地域の住民生活の維持向上だけでなく、都市住民も含めた国民全体が大きな恩恵を受けることができると思われまます。

このたび、本財団は、例えば農村で活動しているさまざまな団体グループや、非営利組織、企業・教育機関、都市住民といった多様な主体が参画した農山漁村の活性化に関する体制づくりをすすめるため、「多様な主体の参画による農山漁村の活性化に関するアンケート調査」を企画致しました。

つきましては、別紙の「アンケートの回答について」をご確認の上、ご多用中とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### 【お問合せ】

谷澤 巖（財団法人農村開発企画委員会 主任研究員）（i\_tanizawa@rdpc.jp）  
〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-16 馬事畜産会館 5階  
TEL 03-3297-5541 FAX 03-3297-5543 <http://www.rdpc.or.jp>

## II 農村振興モニターを対象としたアンケート調査票

別 紙

### アンケートの回答について

#### アンケート回答用紙について

■同封されておりますアンケート票は、白色、ピンク色、クリーム色の3種類あります。

白色のアンケート票の**問2(1)**で、

農山漁村の活性化に向けた活動に「1. 現在、参加している。」を選択された方は、**クリーム色のアンケート票**にご回答ください。

また、「2. 現在、参加していない。」を選択された方は、**ピンク色のアンケート票**にご回答ください。

#### 回答の締め切りについて

■恐れ入りますが、**平成21年1月19日(月)まで(必着)**にご回答をお願いいたします。

#### アンケート用紙の返送について

■調査票は、同封の返信用封筒にてご返送ください。

#### 謝礼について

■ご回答を頂いた方には謝礼として**図書カード500円分**をご送付させていただきます。

なお、図書カードの発送は、整理の都合上回答の締め切り日(平成21年1月19日)から1ヶ月後くらいを予定しています。

## II 農村振興モニターを対象としたアンケート調査票

### 2 「農村振興モニター」の継続の確認

平成20年12月26日

農村振興モニターの皆様へ

財団法人農村開発企画委員会  
主任研究員 谷澤 巖

#### 「農村振興モニター」の継続の確認

「農村振興モニター」の継続についてご確認させていただきます。  
以下のいずれかに「○」印をご記入のうえ、同封されています返信用封筒  
でご返送ください。

私は農村振興モニターを引き続き

1. 継続します      2. 継続しません

ご氏名	
住 所	..... 都・道・府・県 ..... 郡・市 ..... 町・村

なお、継続されない場合、他の方をご推薦していただく必要はありません。  
ご協力誠にありがとうございました。

3 アンケート調査票（白色）

多様な主体の参画による農山漁村の活性化に関するアンケート調査

問1 あなたのことについて、いくつかおたずねします。

(1) あなたの住んでいる場所について教えてください。

_____ 都・道・府・県	_____ 市・町・村
	合併された場合は合併前の市町村名もお書き下さい。  ( _____ 市・町・村)

(2) あなたの性別についてお答えください。

1.	男性	2.	女性
----	----	----	----

(3) あなたの年齢についてお答えください。

1.	20～29歳	5.	55～59歳
2.	30～39歳	6.	60～64歳
3.	40～49歳	7.	65～69歳
4.	50～54歳	8.	70歳以上

(4) あなたの家は農林漁家ですか。

1.	はい	2.	いいえ
----	----	----	-----

(5) あなたは農林漁業に従事していますか。

1.	はい	2.	いいえ
----	----	----	-----

問2 あなたは地元の農山漁村で、農山漁村の活性化（例えば、都市農村交流、農産加工、農業体験、環境美化、伝統文化保全継承活動等）に向けた活動へ参加していますか。

(1) 現在の参加状況についてお聞かせください。

番号	現在の参加状況	
1.	現在、参加している	⇒クリーム色へ
2.	現在、参加していない	⇒ピンク色へ

(2) また、今後の意向をお聞かせください。

番号	今後の意向
1.	今後も参加し続ける
2.	今後は活動を止めたい
3.	今後は参加してみたい
4.	今後も参加するつもりは無い

## 4 アンケート調査票（クリーム色）

### 多様な主体の参画による農山漁村の活性化に関するアンケート調査

#### 回答に当たっての留意事項

クリーム色アンケート票は、白色のアンケート票の問2（1）で、農山漁村の活性化に向けた活動に「1. 現在、参加している。」を選択された方のみ、お答えください。

1 アンケートにお答えする「立場」について

住民の「立場」で、ご自身のお考えをお答えください。

2 アンケート用紙の返送について

回答記入されたアンケート用紙は、同封の返信用封筒でご返送ください。

3 提出期限について

平成21年1月19日（月）まで（必着）とさせていただきます。

4 謝礼について

ご回答を頂いた方には謝礼として図書カード500円分をご送付させていただきます。

なお、図書カードの発送は、整理の都合上回答の締め切り日（平成21年1月19日）から1ヶ月後くらいを予定しています。

#### 【本調査のお問合せ】

谷澤 巖（財団法人農村開発企画委員会 主任研究員）  
〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-16 馬事畜産会館 5階  
E-mail：[i\\_tanizawa@rdpc.jp](mailto:i_tanizawa@rdpc.jp) <http://www.rdpc.or.jp>  
tel：03-3297-5541 fax：03-3297-5543



(2) 問3(1)であなたが「◎」をつけた活動は、どのような組織、グループ又は団体（以下「組織等」という。）が中心となって担われていますか。

以下の表の該当する選択肢の番号に、「○」を1つつけてください。

なお、「その他」を選択された場合は、参加している活動組織等の具体名等を（ ）内にご記入ください。

番号	活動を担っている組織等
1.	個人又は家族単位での組織
2.	集落営農組織や農事組合法人など農業者主体の活動組織等
3.	農協女性部や生活改善グループなど女性主体の活動組織等
4.	自治会、町内会、行政区などの地域の活動組織等
5.	P T A、子ども会、公民館などの地域の活動組織等
6.	同好会や趣味グループなどの地域の活動組織等
7.	まちづくり団体など地域活動を実施するための活動組織等
8.	わからない
9.	その他（ ）

(3) 問3(1)であなたが「◎」をつけた活動を担っている組織等は、どのようなきっかけで設立された組織等ですか。

以下の表の該当する選択肢の番号「すべて」に「○」をつけてください。

そのうち特に中心となる事業には「◎」を1つお願いいたします。

なお、事業名については（ ）内にその事業名をご記入ください。

また「その他」を選択された場合は、その具体的な内容を（ ）内にご記入ください。

番号	組織等を設立したきっかけ
1.	農地・水・環境保全向上対策の導入
2.	農山漁村地域力発掘支援モデル事業の導入
3.	農村コミュニティ再生・活性化支援事業の導入
4.	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金の導入
5.	広域連携共生・対流等対策交付金の導入
6.	その他国の事業導入 事業名（ ）
7.	都道府県独自の事業導入 事業名（ ）
8.	市町村単独での事業導入 事業名（ ）
9.	従来から独自に活動している
10.	わからない
11.	その他（ ）



(4) 問3(1)であなたが「◎」をつけた活動を担っている組織等は、どのような範囲で活動されていますか。

以下の表の該当する選択肢の番号に、「○」を1つつけてください。

なお、「その他」を選択された場合は、活動範囲を具体的に( )内にご記入ください。

番号	おもな活動の範囲
1.	「集落」が活動範囲である
2.	「行政区」が活動範囲である
3.	「大字」が活動範囲である
4.	「小学校区」が活動範囲である
5.	昭和の合併前のいわゆる「旧町村」が活動範囲である
6.	平成の合併前の市町村が活動範囲である
7.	平成の合併後の市町村全域が活動範囲である
8.	その他 ( )

**問4 問3(1)であなたが「◎」をつけた活動を担っている組織等と他組織等との連携**に関することをお聞きします。

※「連携」について

農山漁村で活動しているさまざまな活動団体グループと、他組織等（非営利組織、企業・教育機関、都市住民など）とが協力して農山漁村の活性化に取り組む仕組みをここでは「連携」とよんでいます。

(1) 問3(1)であなたが「◎」をつけた活動を担っている組織等は、現在、他の組織等とも連携して活動していますか。

以下の表の該当する選択肢の番号に「○」を1つつけてください。

番号	連携の状況
1.	現在、単独で活動している ⇒問4(3)へ
2.	現在、連携して活動している ⇒問4(2)へ
3.	わからない ⇒問4(3)へ

(2) 問4(1)で「2. 現在、連携して活動している」を選択された方にお聞きします。

問3(1)であなたが「◎」をつけた活動を担っている組織等は、現在、どのような組織等と連携していますか。

連携している相手先の選択肢の番号「すべて」に「○」をつけてください。

そのうち、特に重要な相手先には「◎」を1つお願いいたします。

なお、「その他」を選択された場合は、活動組織等の具体名を( )内にご記入ください。

番号	連携している相手先
1.	国又は国の研究機関
2.	都道府県又は都道府県の研究機関
3.	市町村又は市町村の研究機関
4.	教育委員会
5.	財団法人〇〇町振興センター又は株式会社〇〇町振興会などの第三セクター
6.	農業協同組合
7.	土地改良区、土地改良事業団体連合会
8.	集落営農組織や農事組合法人など農業者主体の活動組織等
9.	農協女性部や生活改善グループなど女性主体の活動組織等
10.	森林組合(青年部、女性部などの部会も含む)
11.	漁業協同組合(青年部、女性部などの部会も含む)
12.	商工会・商工会議所(青年部、女性部などの部会も含む)
13.	観光協会(青年部、女性部などの部会も含む)
14.	幼稚園・保育園
15.	小中高等学校(高専も含む)
16.	各種専修・専門学校
17.	大学(短大、大学校も含む)
18.	一般企業・金融機関
19.	自治会、町内会、行政区などの地域の活動組織等
20.	P T A、子ども会、公民館などの地域の活動組織等
21.	同好会や趣味グループなどの地域の活動組織等
22.	まちづくり団体など地域活動を実施するための組織等
23.	社会福祉協議会、シルバー人材センター
24.	国、都道府県又は市町村の事業導入を契機として設立された団体
25.	わからない
26.	その他( )

(3) 問3(1)であなたが「◎」をつけた活動を担っている組織等と他の組織等との連携について、今後の意向をお聞かせください。

以下の表の該当する選択肢の番号に「○」を1つつけてください。

なお、「その他」を選択された場合は、連携の意向を具体的に( )内にご記入ください。

番号	連携の意向	
1.	今後も単独で活動したい	⇒問5へ
2.	今後は他組織とも連携して活動したい	⇒問4(4)へ
3.	今後も連携して活動していくが、連携先は現状維持で良い	⇒問5へ
4.	今後は連携先をさらに増やして活動したい	⇒問4(4)へ
5.	今後は連携先を減らして活動したい	⇒問5へ
6.	わからない	⇒問5へ
7.	その他 ( )	⇒問5へ

(4) 問4(2)で「2. 今後は他組織とも連携して活動したい」又は「4. 今後は連携先を増やして活動したい」を選択された方にお聞きします。

問3(1)であなたが「◎」をつけた活動を担っている組織等は、今後のどのような組織等と連携して活動すると、より効果的な活動ができると思いますか。

連携したほうが良い相手先の選択肢の番号「すべて」に「○」をつけてください。

そのうち、特に重要な相手先には「◎」を1つお願いいたします。

なお、「その他」を選択された場合は、活動組織等の具体名を( )内にご記入ください。

番号	連携したほうが良い相手先
1.	国又は国の研究機関
2.	都道府県又は都道府県の研究機関
3.	市町村又は市町村の研究機関
4.	教育委員会
5.	財団法人〇〇町振興センター又は株式会社〇〇町振興会などの第三セクター
6.	農業協同組合
7.	土地改良区、土地改良事業団体連合会
8.	集落営農組織や農事組合法人など農業者主体の活動組織等
9.	農協女性部や生活改善グループなど女性主体の活動組織等
10.	森林組合(青年部、女性部などの部会も含む)
11.	漁業協同組合(青年部、女性部などの部会も含む)
12.	商工会・商工会議所(青年部、女性部などの部会も含む)
13.	観光協会(青年部、女性部などの部会も含む)
14.	幼稚園・保育園
15.	小中高等学校(高専も含む)
16.	各種専修・専門学校
17.	大学(短大、大学校も含む)
18.	一般企業・金融機関
19.	自治会、町内会、行政区などの地域の活動組織等
20.	P T A、子ども会、公民館などの地域の活動組織等
21.	同好会や趣味グループなどの地域の活動組織等
22.	まちづくり団体など地域活動を実施するための組織等
23.	社会福祉協議会、シルバー人材センター
24.	国、都道府県又は市町村の事業導入を契機として設立された団体
25.	わからない
26.	その他( )

**問5 一般的に他組織等と連携して活動することのメリットや課題等についてお聞きします。**

(1) 他組織等と連携するメリットは何だと思われますか。

以下の表の該当する選択肢の番号に、「○」を3つつけてください。  
 そのうち、あなたが特にメリットだと思う選択肢には「◎」を1つお願いいたします。  
 なお、「その他」を選択された場合は、その内容を具体的に( )内にご記入ください。

番号	連携して活動するメリット
1.	有益な情報提供やアドバイスを受けることができる
2.	自分たちの活動の機会が広がる
3.	自分たちの活動の幅が広がる(活動メニューが増える、など)
4.	自分たちの活動で不足している部分を補える
5.	対外的に信用力が高まる
6.	自分達の視野が広がる
7.	活動の参加者が増える
8.	活動資金の確保など資金的支援が期待できる
9.	わからない
10.	その他( )

(2) 他組織等と連携しようとする場合、どのようなことが課題になると思われますか。

以下の表の該当する選択肢の番号に、「○」を3つつけてください。  
 そのうち、あなたが特に課題だと思う選択肢には「◎」を1つお願いいたします。  
 なお、「その他」を選択された場合は、その課題を具体的に( )内にご記入ください。

番号	他組織等と連携することの課題
1.	提携先に関する情報収集
2.	連携先を紹介・斡旋してくれる仲介者や仲介組織についてのPR強化
3.	連携先との活動をすすめるための体制づくりや人材の確保
4.	連携先との活動における取組内容や人材など役割分担
5.	連携先との活動における資金確保や資金の分担
6.	連携先と一緒に活動をするための施設や事務所の確保
7.	連携活動を続けていくための後継者の確保
8.	連携活動を行う上での地域の理解・協力
9.	連携活動を行う上での家族の理解・協力
10.	連携活動を行う上での行政的な支援
11.	わからない
12.	その他( )

**問6 自分たちの活動組織等と他組織等とを結びつけてくれる仲介役についてお聞きします。**

(1) あなたは、このような組織と組織を結びつける「仲介役」が必要だと思いますか。

以下の表の該当する選択肢の番号に、「○」を1つつけてください。

なお、「その他」を選択された場合は、その内容を具体的に( )内にご記入ください。

番号	仲介役の必要性	
1.	必要だと思う。	⇒問6(2)～(4)へ
2.	場合によっては必要だと思う。	⇒問6(2)～(4)へ
3.	あまり必要だと思わない。	⇒問7へ
4.	必要だと思わない。	⇒問7へ
5.	わからない	⇒問7へ
6.	その他( )	⇒問7へ

(2) あなたは、このような「仲介役」にどのような役割を期待しますか。

以下の表の該当する選択肢の番号に、「○」を3つつけてください。

そのうち、あなたが特に重要だと思う役割には「◎」を1つお願いいたします。

なお、「その他」を選択された場合は、その内容を具体的に( )内にご記入ください。

番号	仲介役に期待する役割	
1.	連携先の情報を収集し、提供してくれること	
2.	連携先をみつけ、自分たちの組織と引き合わせてくれること	
3.	連携先との活動計画立案への助言・指導をしてくれること	
4.	活動実施への資金確保情報、取組ノウハウを提供してくれること	
5.	連携先との利害調整をしてくれること	
6.	連携先との連携の維持に役立つ助言や支援をしてくれること	
7.	わからない	
8.	その他( )	



(4) あなたが「仲介役」を選ぶ場合の基準についてお聞きします。

以下の表の該当する選択肢の番号に、「○」を3つつけてください。

そのうち、あなたが特に重要だと思う基準には「◎」を1つお願いいたします。

なお、「その他」を選択された場合は、その内容を具体的に( )内にご記入ください。

番号	仲介役を選ぶ基準
1.	信頼できる組織等、信用できる組織等かどうかで決める
2.	頼みやすい組織等かどうかで決める
3.	地元とのつながりがある組織等かどうかで決める
4.	実際に組織等と組織等とを結びつけた実績のある組織等かどうかで決める
5.	自分たちの活動目的を理解し、支援してくれる組織等かどうかで決める
6.	継続的に情報提供や助言などをおこなってくれるかどうかで決める
7.	わからない
8.	その他 ( )

**問7 その他、組織等との連携や、自分たちの活動組織等と他組織等を結びつける仲介役についてあなたのご意見・ご要望をお聞きかせください。**

ご協力、ありがとうございました。



## 5 アンケート調査票（ピンク色）

### 多様な主体の参画による農山漁村の活性化に関するアンケート調査

#### 回答に当たっての留意事項

ピンク色アンケート票は、白色のアンケート票の問2（1）で、農山漁村の活性化に向けた活動に「2. 現在、参加していない。」を選択された方のみ、お答えください。

- 1 アンケートにお答えする「立場」について  
住民の「立場」で、ご自身のお考えをお答えください。
- 2 アンケート用紙の返送について  
回答記入されたアンケート用紙は、同封の返信用封筒でご返送ください。
- 3 提出期限について  
**平成21年1月19日（月）まで（必着）**とさせていただきます。
- 4 謝礼について  
ご回答を頂いた方には謝礼として図書カード500円分をご送付させていただきます。  
なお、図書カードの発送は、整理の都合上回答の締め切り日（平成21年1月19日）から1ヶ月後くらいを予定しています。

#### 【本調査のお問合せ】

谷澤 巖（財団法人農村開発企画委員会 主任研究員）  
〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-16 馬事畜産会館 5階  
E-mail：[i\\_tanizawa@rdpc.jp](mailto:i_tanizawa@rdpc.jp) <http://www.rdpc.or.jp>  
tel：03-3297-5541 fax：03-3297-5543

問2(1)で「2. 現在、参加していない」を選択された方にお尋ねします。

問8 農山漁村を舞台とした農山漁村の活性化に向けた活動についてお聞きいたします。

(1) 今後、あなたが参加してみたい農山漁村の活性化に向けた活動はどのような活動ですか。

以下の表の該当する選択肢の番号に、「○」を3つつけてください。

そのうち、あなたにとって特に参加してみたい活動には「◎」を1つお願いいたします。

なお、「その他」を選択された場合は、その内容を具体的に( )内にご記入ください。

番号	参加してみたい活動
1.	地元農産物を農産物直売所で販売
2.	地元農産物を活用した加工品の製造・販売
3.	地元農産物を料理として提供する農村レストランの運営
4.	田植え体験、収穫体験、野菜の刈り取り体験などの農業体験
5.	郷土料理などの料理体験、わら細工の製作体験など農村体験
6.	ジャム、ジュース、そばうちなどの農産物加工体験
7.	棚田、果樹園などのオーナー制度の運営
8.	市民農園・体験農園の開設や運営
9.	農家民宿の運営
10.	棚田・谷地田、段々畑などの維持管理・保全
11.	里山・山林・自然草地などの維持管理・保全
12.	ため池・湖沼などの環境美化・保全
13.	河川・水路・花壇づくりなどの環境美化・保全
14.	伝統的町並み・伝統的家屋など建築物の維持管理・保全
15.	伝統工芸・芸能・祭りなどの保全・継承
16.	民話の語り部や観光ボランティアガイド
17.	わからない
18.	その他 ( )

- (2) 問8(1)であなたが「◎」をつけた活動に参加する場合、どのような組織、グループ又は団体（以下「組織等」という。）だったら参加しますか。

以下の表の該当する選択肢の番号に、「○」を1つつけてください。

なお、「その他」を選択された場合は、参加している活動組織等の具体名を（ ）内にご記入ください。

番号	参加してみたい活動組織等
1.	個人又は家族単位での組織
2.	集落営農組織や農事組合法人など農業者主体の活動組織等
3.	農協女性部や生活改善グループなど女性主体の活動組織等
4.	自治会、町内会、行政区などの地域の活動組織等
5.	P T A、子ども会、公民館などの地域の活動組織等
6.	同好会や趣味グループなどの地域の活動組織等
7.	まちづくり団体など地域活動を実施するための活動組織等
8.	わからない
9.	その他（  ）

- (3) 問8(1)であなたが「◎」をつけた活動を担っている組織等は、おもにどのような範囲での活動を想定されますか。

以下の表の該当する選択肢の番号に、「○」を1つつけてください。

なお、「その他」を選択された場合は、活動範囲を具体的に（ ）内にご記入ください。

番号	想定されるおもな活動の範囲
1.	「集落」が活動範囲である
2.	「行政区」が活動範囲である
3.	「大字」が活動範囲である
4.	「小学校区」が活動範囲である
5.	昭和の合併前のいわゆる「旧町村」が活動範囲である
6.	平成の合併前の市町村が活動範囲である
7.	平成の合併後の市町村全域が活動範囲である
8.	その他（  ）

**問9** あなたが参加してみたい活動組織等と他の組織等との連携についてお聞きします。

※「連携」について

農山漁村で活動しているさまざまな活動団体グループと、他組織等（非営利組織、企業・教育機関、都市住民など）とが協力して農山漁村の活性化に取り組む仕組みをここでは「連携」とよんでいます。

- (1) 問8(1)であなたが参加してみたい活動に「◎」をつけた活動を担っている組織等は、単独で活動している組織等を想定していますか、他の組織等と連携して活動している組織等を想定していますか。

以下の表の該当する選択肢の番号に「○」を1つつけてください。

なお、「その他」を選択された場合は、内容を具体的に( )内にご記入ください。

番号	参加してみたい活動組織等の連携について
1.	単独で活動している組織等 ⇒問10へ
2.	他組織等とも連携して活動している組織等 ⇒問9(2)へ
3.	自分たちで活動組織等を立ち上げたい ⇒問10へ
4.	その他 ( ) ⇒問10へ

(2) 問9(1)で「2. 他組織等とも連携して活動している組織等」を選択された方にお聞きします。

問8(1)であなたが参加してみたい活動に「◎」をつけた活動を担っている組織等は、今後、どのような組織等と連携して活動すると、より効果的な活動ができると思われますか。

連携したほうが良い相手先の選択肢の番号「すべて」に「○」をつけてください。

そのうち、特に重要な相手先には「◎」を1つお願いいたします。

なお、「その他」を選択された場合は、連携先の組織等の具体名を( )内にご記入ください。

番号	連携したほうが良い相手先
1.	国又は国の研究機関
2.	都道府県又は都道府県の研究機関
3.	市町村又は市町村の研究機関
4.	教育委員会
5.	財団法人〇〇町振興センター又は株式会社〇〇町振興会などの第三セクター
6.	農業協同組合
7.	土地改良区、土地改良事業団体連合会
8.	集落営農組織や農事組合法人など農業者主体の活動組織等
9.	農協女性部や生活改善グループなど女性主体の活動組織等
10.	森林組合(青年部、女性部などの部会も含む)
11.	漁業協同組合(青年部、女性部などの部会も含む)
12.	商工会・商工会議所(青年部、女性部などの部会も含む)
13.	観光協会(青年部、女性部などの部会も含む)
14.	幼稚園・保育園
15.	小中高等学校(高専も含む)
16.	各種専修・専門学校
17.	大学(短大、大学校も含む)
18.	一般企業・金融機関
19.	自治会、町内会、行政区などの地域の活動組織等
20.	P T A、子ども会、公民館などの地域の活動組織等
21.	同好会や趣味グループなどの地域の活動組織等
22.	まちづくり団体など地域活動を実施するための組織等
23.	社会福祉協議会、シルバー人材センター
24.	国、都道府県又は市町村の事業導入を契機として設立された団体
25.	わからない
26.	その他( )

**問 10 一般的に他組織等と連携して活動することのメリットや課題等についてお聞きします。**

(1) 他組織等と連携することのメリットは何だと思えますか。

以下の表の該当する選択肢の番号に、「○」を **3つ** けてください。  
 そのうち、あなたが特にメリットだと思う選択肢には「◎」を **1つ** お願いいたします。  
 なお、「その他」を選択された場合は、その内容を具体的に ( ) 内にご記入ください。

番号	連携して活動するメリット
1.	有益な情報提供やアドバイスを受けることができる
2.	自分たちの活動の機会が広がる
3.	自分たちの活動の幅が広がる (活動メニューが増える、など)
4.	自分たちの活動で不足している部分を補える
5.	対外的に信用力が高まる
6.	自分達の視野が広がる
7.	活動の参加者が増える
8.	活動資金の確保など資金的支援が期待できる
9.	わからない
10.	その他 ( )

(2) 他組織等と連携しようとする場合、どのようなことが課題になると思えますか。

以下の表の該当する選択肢の番号に、「○」を **3つ** けてください。  
 そのうち、あなたが特に課題だと思う選択肢には「◎」を **1つ** お願いいたします。  
 なお、「その他」を選択された場合は、その内容を具体的に ( ) 内にご記入ください。

番号	他組織等と連携することの課題
1.	提携先に関する情報収集
2.	連携先を紹介・斡旋してくれる仲介者や仲介組織についてのPR強化
3.	連携先との活動をすすめるための体制づくりや人材の確保
4.	連携先との活動における取組内容や人材など役割分担
5.	連携先との活動における資金確保や資金の分担
6.	連携先と一緒に活動をするための施設や事務所の確保
7.	連携活動を続けていくための後継者の確保
8.	連携活動を行う上での地域の理解・協力
9.	連携活動を行う上での家族の理解・協力
10.	連携活動を行う上での行政的な支援
11.	わからない
12.	その他 ( )

**問 11 農山漁村の活性化に向けた取組みをおこなうさまざまな組織を結びつけてくれる「仲介役」についてお聞きします。**

(1) あなたは、このような組織と組織を結びつける「仲介役」が必要だと思いませんか。

以下の表の該当する選択肢の番号に、「○」を「1つ」つけてください。

なお、「その他」を選択された場合は、その内容を具体的に（ ）内にご記入ください。

番号	仲介役の必要性	
1.	必要だと思う。	⇒問 1 1 (2) ~ (4) へ
2.	場合によっては必要だと思う。	⇒問 1 1 (2) ~ (4) へ
3.	あまり必要だと思わない。	⇒問 1 2 へ
4.	必要だと思わない。	⇒問 1 2 へ
5.	わからない	⇒問 1 2 へ
6.	その他 ( )	⇒問 1 2 へ

(2) あなたは、このような「仲介役」にどのような役割を期待しますか。

以下の表の該当する選択肢の番号に、「○」を「3つ」つけてください。

そのうち、あなたが特に重要だと思う役割には「◎」を「1つ」お願いいたします。

なお、「その他」を選択された場合は、その内容を具体的に（ ）内にご記入ください。

番号	仲介役に期待する役割	
1.	連携先の情報を収集し、提供してくれること	
2.	連携先をみつけ、自分たちの組織と引き合わせてくれること	
3.	連携先との活動計画立案への助言・指導をしてくれること	
4.	活動実施への資金確保情報、取組ノウハウを提供してくれること	
5.	連携先との利害調整をしてくれること	
6.	連携先との連携の維持に役立つ助言や支援をしてくれること	
7.	わからない	
8.	その他 ( )	





(4) あなたが「仲介役」を選ぶ場合の基準についてお聞きします。

以下の表の該当する選択肢の番号に、「○」を3つ付けてください。  
そのうち、あなたが特に重要だと思う基準には「◎」を1つお願いいたします。  
なお、「その他」を選択された場合は、その内容を具体的に( )内にご記入ください。

番号	仲介役を選ぶ基準
1.	信頼できる組織等、信用できる組織等かどうかで決める
2.	頼みやすい組織等かどうかで決める
3.	地元とのつながりがある組織等かどうかで決める
4.	実際に組織等と組織等とを結びつけた実績のある組織等かどうかで決める
5.	自分たちの活動目的を理解し、支援してくれる組織等かどうかで決める
6.	継続的に情報提供や助言などをおこなってくれるかどうかで決める
7.	わからない
8.	その他 ( )

**問 12 その他、他組織等との連携や、組織と組織とを結びつける仲介役についてあなたのご意見・ご要望をお聞きかせください。**

ご協力、ありがとうございました

